



一人ひとり一つひとつを大切に。

2008年7月



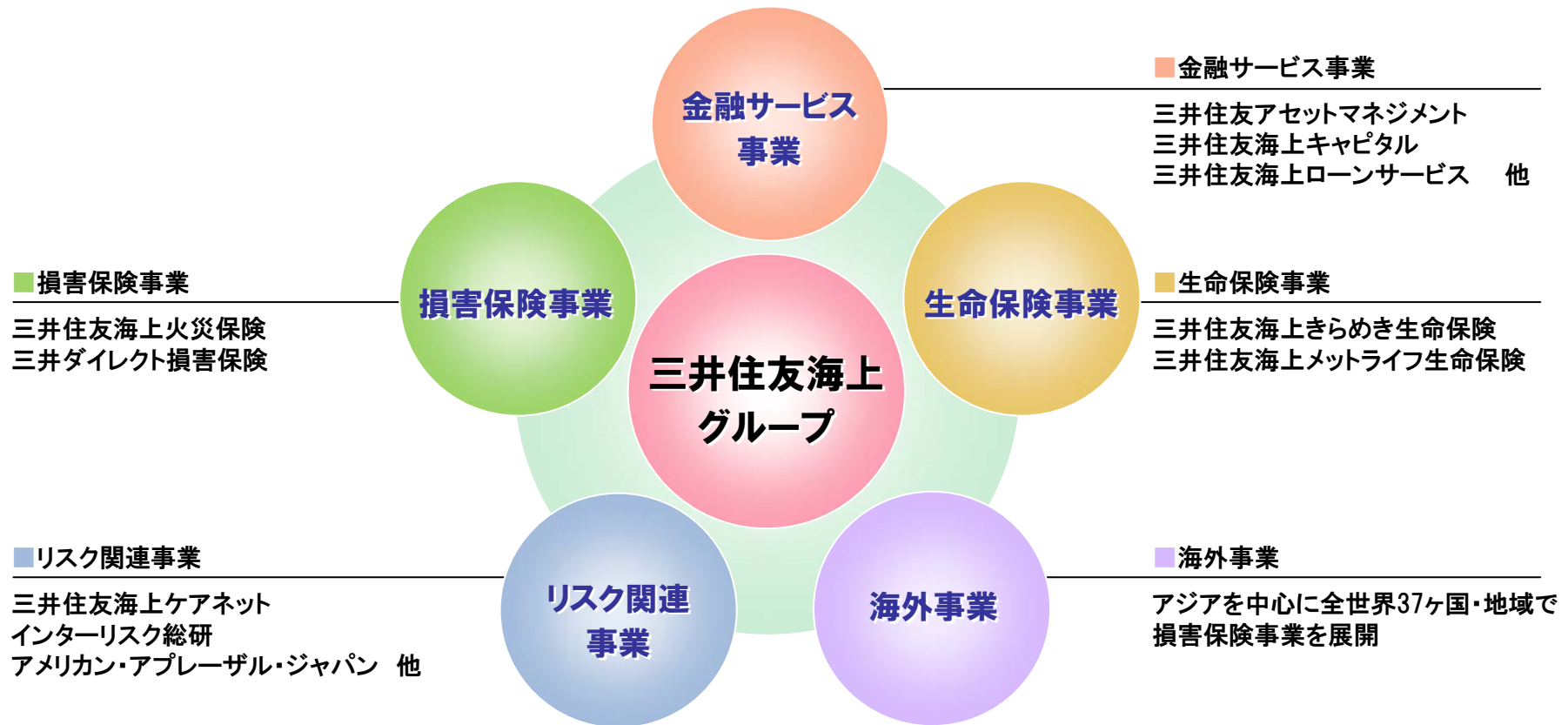
MSIG

三井住友海上グループホールディングス株式会社

三井住友海上グループの現状①

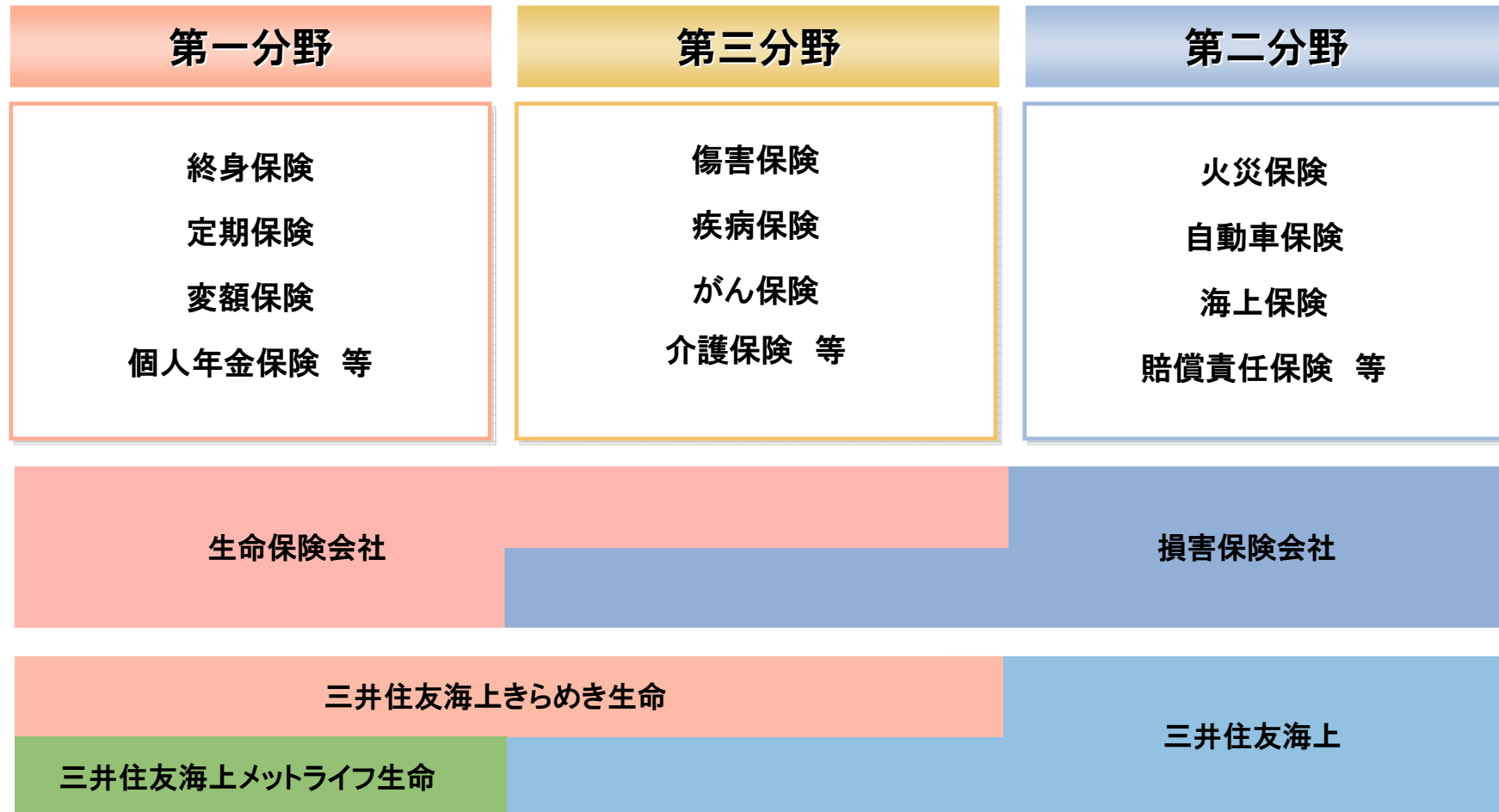
国内損害保険事業を核に展開する事業ポートフォリオ

～ 5大事業それぞれの成長を加速 ～



(2008年4月1日現在)

(ご参考) 保険事業の概観



(注) 三井住友海上メットライフ生命は、個人年金保険を主体に販売しております。

三井住友海上グループの現状②

国内屈指の保険・金融グループ

▼三井住友海上

国内ネットワーク	
営業ネットワーク	
営業部支店	130
営業拠点	707
代理店	46,396

海外ネットワーク	
37ヶ国・地域に拠点網	
海外支店・総事務所	4
子会社・関連会社	52
海外事務所	313

資本金	約 1,395億円
総資産	約 8.3兆円
純資産	約 1.6兆円
従業員数	20,237人

連結子会社数	35社
グループ会社数	107社

(注) きらめき生命、MSIメットライフ生命、ダイレクト損害保険を含みます。

格付	S&P	AA
	Moody's	Aa3
	AM Best	A+
	日本格付研究所(JCR)	AAA
	格付投資情報センター(R&I)	AA

(注) 保険財務力、長期債等格付

ソルベンシーマージン	955.4%
------------	--------

(注) 格付及びソルベンシーマージンは、三井住友海上単体のものです。

▼三井住友海上きらめき生命

資本金	355億円
総資産	約 9,997億円
純資産	約 574億円
格付(S&P、R&I)	AA
ソルベンシーマージン	2,124.0%

▼三井住友海上メットライフ生命

資本金	約 308億円
総資産	約 25,431億円
純資産	約 150億円
格付(S&P、R&I)	AA
ソルベンシーマージン	1,398.8%

▼三井ダイレクト損害保険

資本金	300億円
総資産	約 347億円
純資産	約 78億円
ソルベンシーマージン	776.8%

(2008年4月1日現在)

三井住友海上のポジション

2007年度 国内損害保険会社 ランキング
(連結・経常収益ベース、上位3社)

順位	会社名	経常収益 (億円)
1	ミレアホールディングス	37,100
2	三井住友海上	21,376
3	損保ジャパン	18,941

2006年度 世界の損害保険会社・売上高ランキング
(1USD=116.96JPY)

順位	会社名	売上高 (億円)
1	アリアンツ	146,605
2	AIG	132,392
3	パークシャー ハザウェイ	115,251
4	チューリッヒ	76,024
5	ミュニックリー	68,051
6	ミレアホールディングス	42,185
7	オールステート	41,867
8	スイス リー	37,565
9	ハートフォード	30,994
10	トラベラーズ	29,345
11	リバティ ミューチュアル	27,509
12	ネーションワイド	26,027
13	三井住友海上	21,170
14	ロウズ	20,149
15	損害保険ジャパン	19,015

出典: "Fortune Global 500" (July 23, 2007 issue)より "Insurance P&C"

日本の金融機関・時価総額ランキング

(1USD=107.59JPY)

順位	会社名	時価総額 (億円)
1	三菱UFJフィナンシャルグループ	112,200
2	三井住友フィナンシャルグループ	70,780
3	みずほフィナンシャルグループ	62,679
4	ミレアホールディングス	34,755
5	野村ホールディングス	33,322
6	りそなホールディングス	19,835
7	T&Dホールディングス	17,341
8	三井住友海上	16,726
9	オリックス	16,438
10	大和証券グループ本社	14,706
11	住友信託銀行	13,685
12	損害保険ジャパン	10,509

(2008年6月19日現在)

世界の保険会社・時価総額ランキング

(1USD=107.59JPY)

順位	会社名	時価総額 (億円)
1	パークシャー ハザウェイ	209,255
2	中国人寿	109,983
3	AIG	90,312
4	アリアンツ	88,451
5	アクサ	72,691
12	ミレアホールディングス	34,755
33	T&Dホールディングス	17,341
34	三井住友海上	16,726
51	損害保険ジャパン	10,509

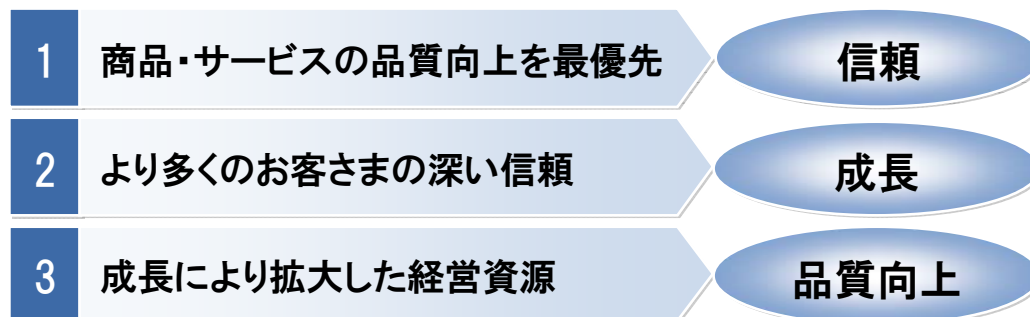
出典: Bloomberg データに基づき、当社にて作成。(2008年6月19日現在)

中期経営計画

「ニューチャレンジ 10」

企業品質を競争力として永続的に発展する
世界トップ水準の保険・金融グループを目指して

～お客さま基点に立った「品質」の向上、「信頼」、「成長」を通じ、CSR経営を実現～



1～3の好循環により絶え間ない「品質向上」を実現

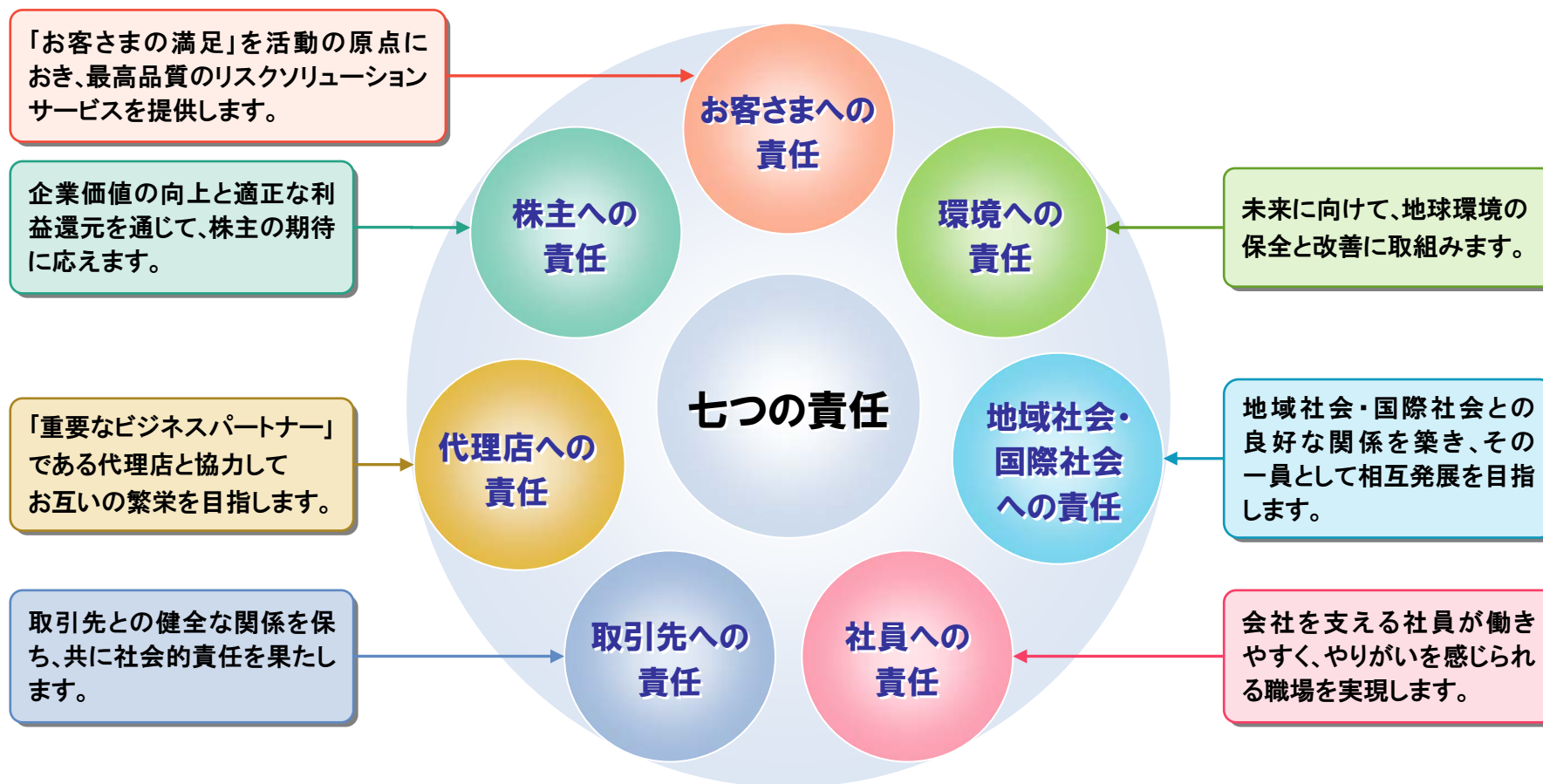


企業品質向上

コーポレートブランドの構築

「ニューチャレンジ10のもと、どのような経営を目指していますか」

CSR経営を推進していきます



「具体的に、品質向上についてどのようなことを行っていますか」

お客さまのご意見、ご要望を受けとめ、 保険商品やサービスをより良いものにしていきます



お客さま
の声

安心のための保険だから、
十分に納得して契約したい
のですが...



ご契約時に丁寧にご説明し、
しっかり確認しています。



お客さま
の声

万が一のときにこそ、
頼れる保険であってほしい
と思います。



十分に確認して
保険金をお支払いしています。



お客さま
の声

特約の種類が多すぎて、
契約の内容がよくわかりません。



保険商品をわかりやすく
していきます。

例えば、



お客さま
の声

保険の書類は見づらくて、
よくわかりません。



お客さまの声をお聞きし、
デザイン上の工夫をしました。

保険商品の品揃えを
見直しています。

(例)個人向けの場合

	2006年度	2008年度末 目標
商品数	68	約15
特約数	約1,400	約700

保険の用語を

「わかりやすい言葉」に改めています。

(例)

変更前	変更後
契約の異動	契約内容の変更
保険の目的	保険の対象
担保する	補償する

持株会社体制への移行

2008年4月1日より持株会社体制に移行

三井住友海上グループホールディングス株式会社

証券コード:8725

三井住友海上火災保険株式会社

三井住友海上きらめき生命保険株式会社

三井住友海上メットライフ生命保険株式会社

三井ダイレクト損害保険株式会社

海外現地法人

金融サービス
事業会社

リスク関連
事業会社

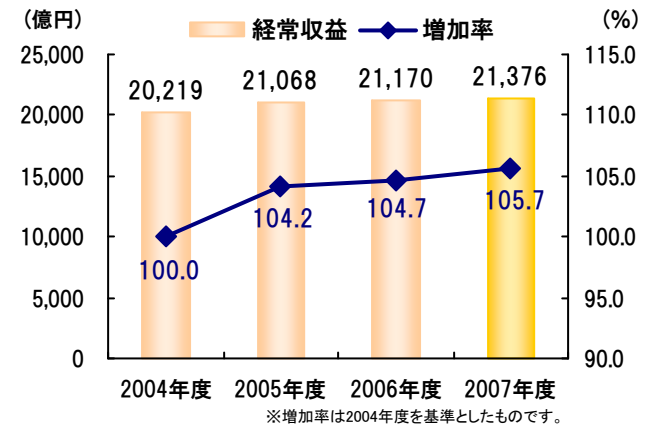
(2008年7月1日現在)

三井住友海上(連結)業績の推移

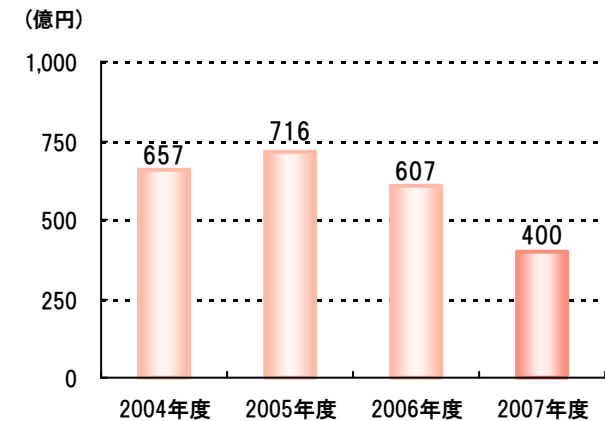
(単位:億円)

	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度
経常収益	20,219	21,068	21,170	21,376
(保険引受収益)	(18,811)	(19,384)	(19,471)	(19,544)
(資産運用収益)	(1,370)	(1,598)	(1,652)	(1,773)
経常費用	19,343	19,791	20,253	20,767
(保険引受費用)	(16,721)	(17,106)	(17,387)	(17,225)
(資産運用費用)	(172)	(154)	(166)	(542)
(営業費・一般管理費)	(2,379)	(2,473)	(2,629)	(2,903)
経常利益	875	1,277	916	608
当期純利益	657	716	607	400

経常収益(一般企業の売上高に相当)



当期純利益



「社内の利益管理は損益計算書の当期純利益で管理していますか」

当社グループ全体の経常的な収益力を示す 「グループコア利益」を重視しています

2007年度のケーススタディ

<財務会計上の利益>

<当社グループの経常的な収益力>

連結
当期純利益

400億円

▲105億円

▲61億円



94億円



グループコア
利益

660億円

国内損害保険事業
生命保険事業
海外事業
金融サービス事業
リスク関連事業
の子会社等当期
純利益の合算

その他個別要因

クレジットデリバティブ
評価損益

株式キャピタル損益

生保子会社連結利益

三井住友海上きらめき生命
標準責任準備金積み増し前
利益

三井住友海上メットライフ生命
米国会計基準(US GAAP)
ベースの持分利益

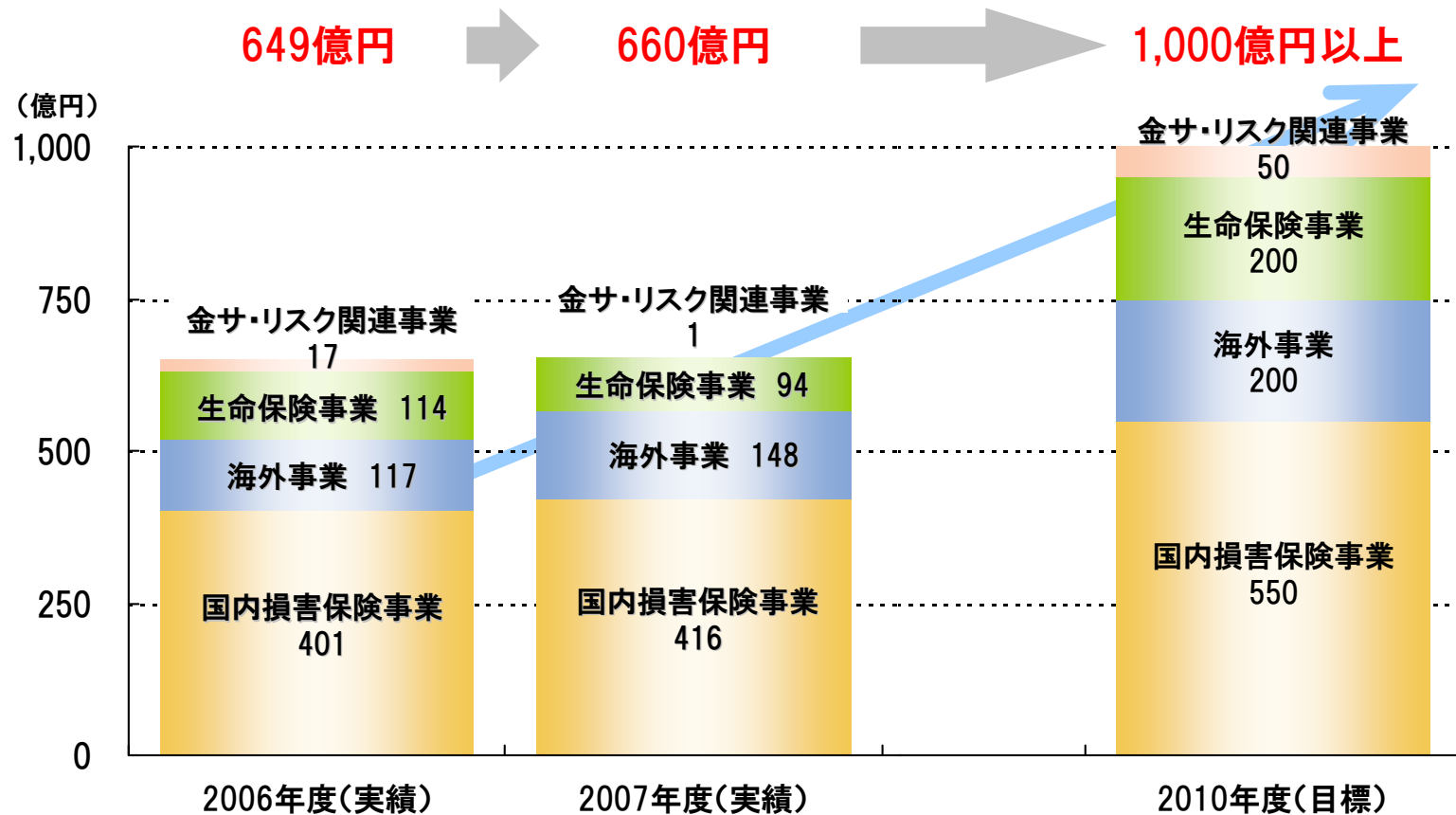
金融・株式市場の
影響等を除外

生命保険会社の利益を経常的収益ベースに
置き換え

ニューチャレンジ10における目標数値

2010年度グループコア利益:1,000億円以上を目指しています

グループコア利益の実績・目標

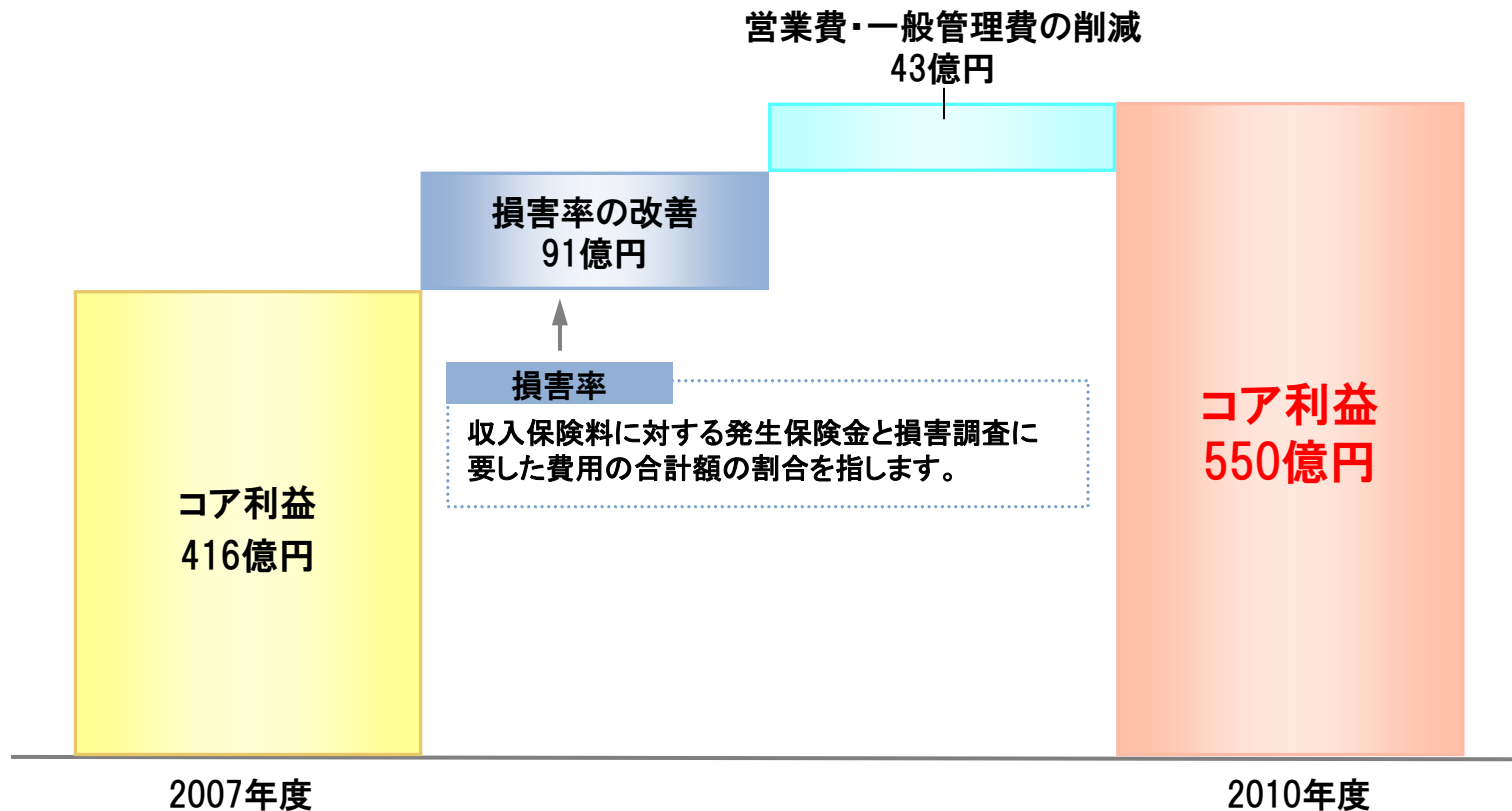


事業別状況と今後の展開

国内損害保険事業 コア利益の拡大に向けて

2007年度コア利益 : 416億円

2010年度コア利益550億円を目指します



※ 数値は税引後の数字で表記しております。

契約高・コア利益の拡大

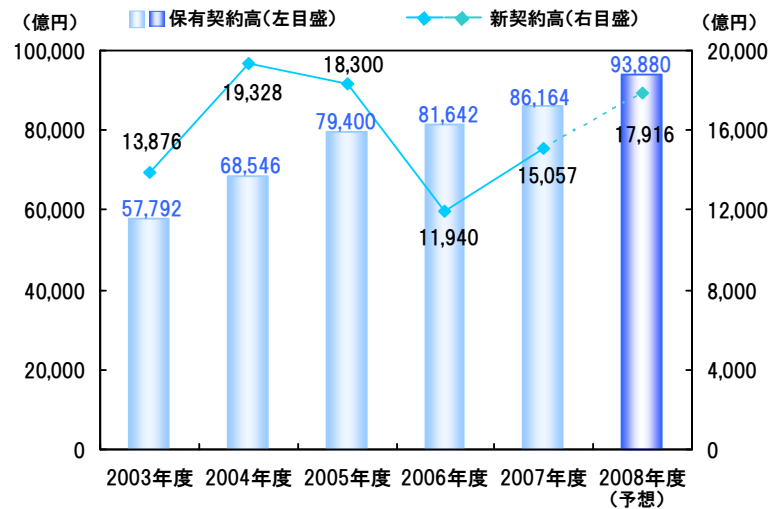
2007年度コア利益 : 94億円

2010年度コア利益200億円を目指します

三井住友海上きらめき生命

死亡保障性商品、医療・がん保険を主体に
順調に業容を拡大

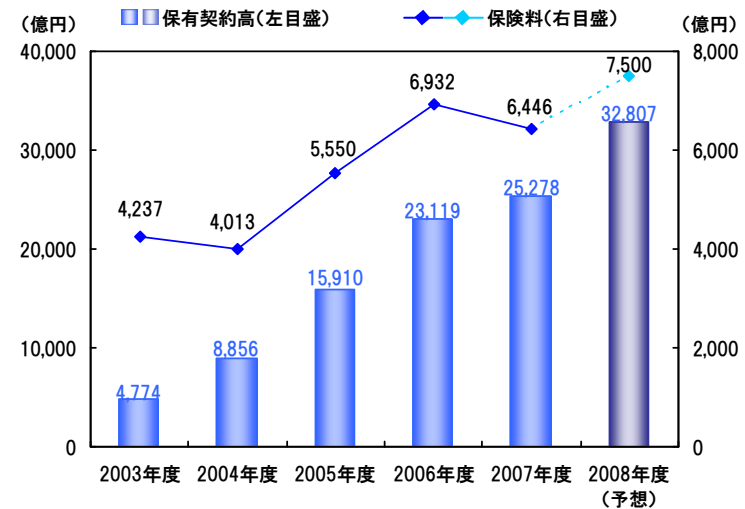
<保有契約高・新契約高の推移(個人保険+個人年金)>



三井住友海上メットライフ生命

国内最大級の個人年金保険専門会社として
飛躍的に業容を拡大

<保有契約高・保険料の推移>



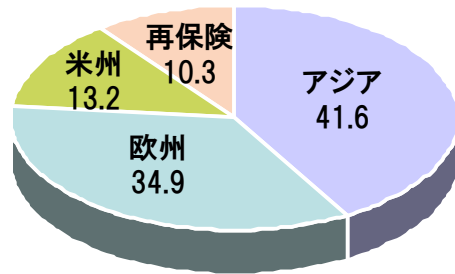
M&Aも含め、さらなる成長に向けて

2007年度コア利益 : 148億円

2010年度コア利益200億円以上を目指します

正味収入保険料のエリア別構成比

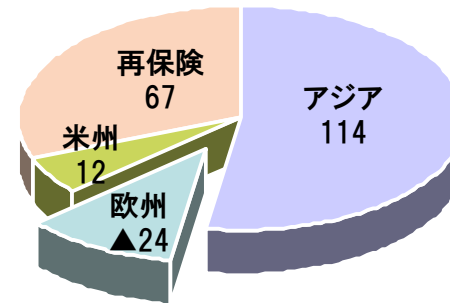
(%)



2007年度

当期純利益のエリア別実績

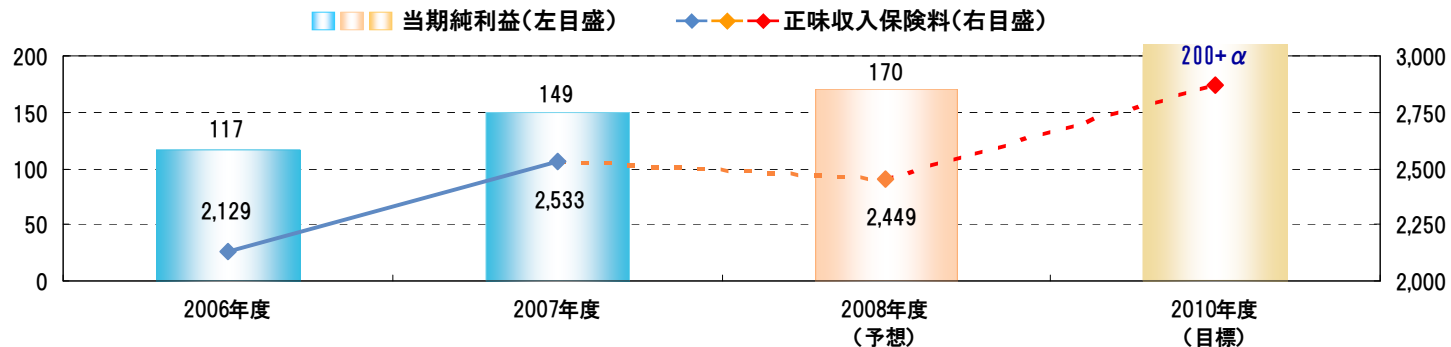
(億円)



2007年度

正味収入保険料、当期純利益の推移(海外合計)

(億円)



コアエリアとなるアジアでの状況

アジア地域で外資系トップ水準

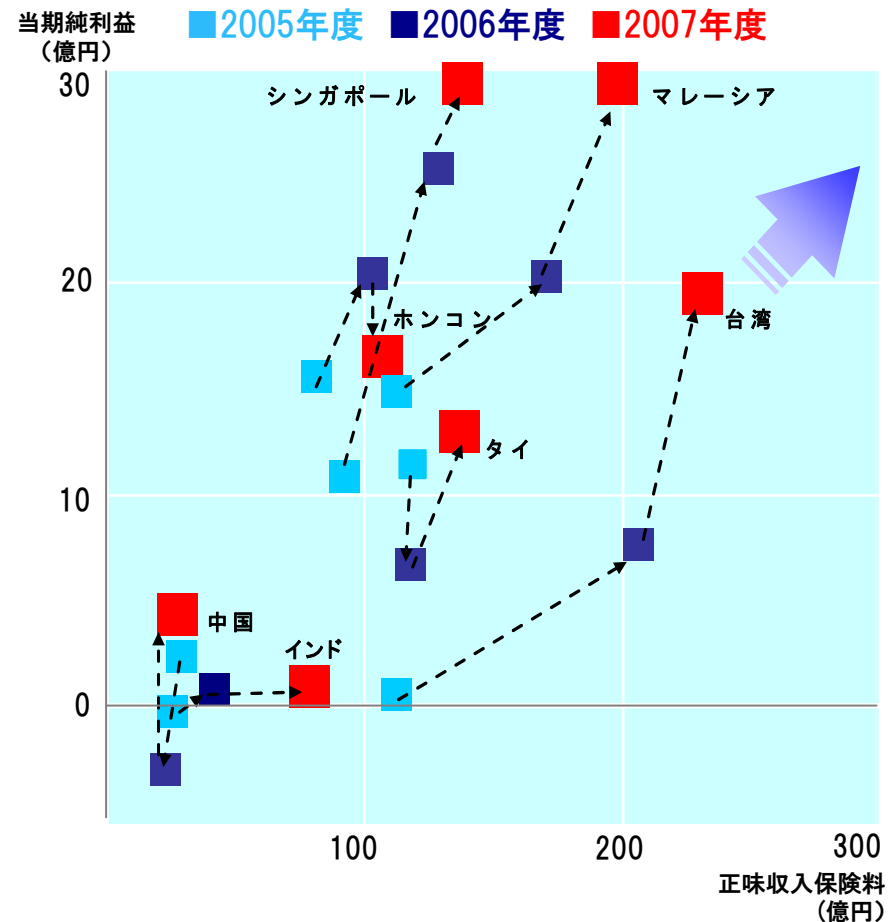
アジアでの当社ネットワーク

● 当社順位が1位~5位 ● 左記以外



(注) 順位は、各国・地域における三井住友海上子会社、関連会社、支店の合計数字による当社集計。

アジア各国・地域の当社業績



「海外事業のさらなる成長に向け、 今後の新規投資をどのように行っていくですか」

事業のグローバル化を積極的に進め、
特にアジア地域での投資を加速します

過去5年間の海外事業投資実績

	投資内容	金額
アセアン	Aviva社アジア損保事業買収 (04年)	650億円
台湾	明台社買収 (05年)	290億円
中国	中国支店・現地法人設立 (01～07年)	45億円
欧州	現地法人資本増強 (03～07年)	104億円
再保険	再保険子会社資本増強 (02～06年)	445億円

今後想定される投資領域

●アジアの生命保険事業への投資

インド・中国・アセアン

●アジアの損害保険事業への投資

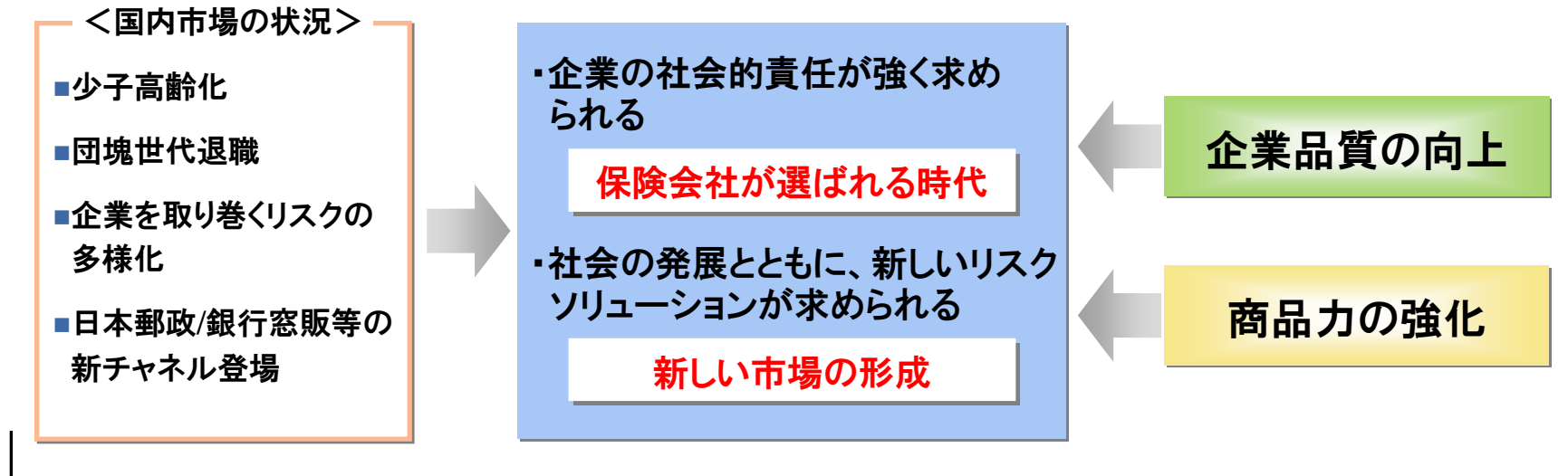
●欧州での企業保険事業への投資

等



「少子高齢化など成熟市場となる 国内損害保険市場をどう見えていますか？」

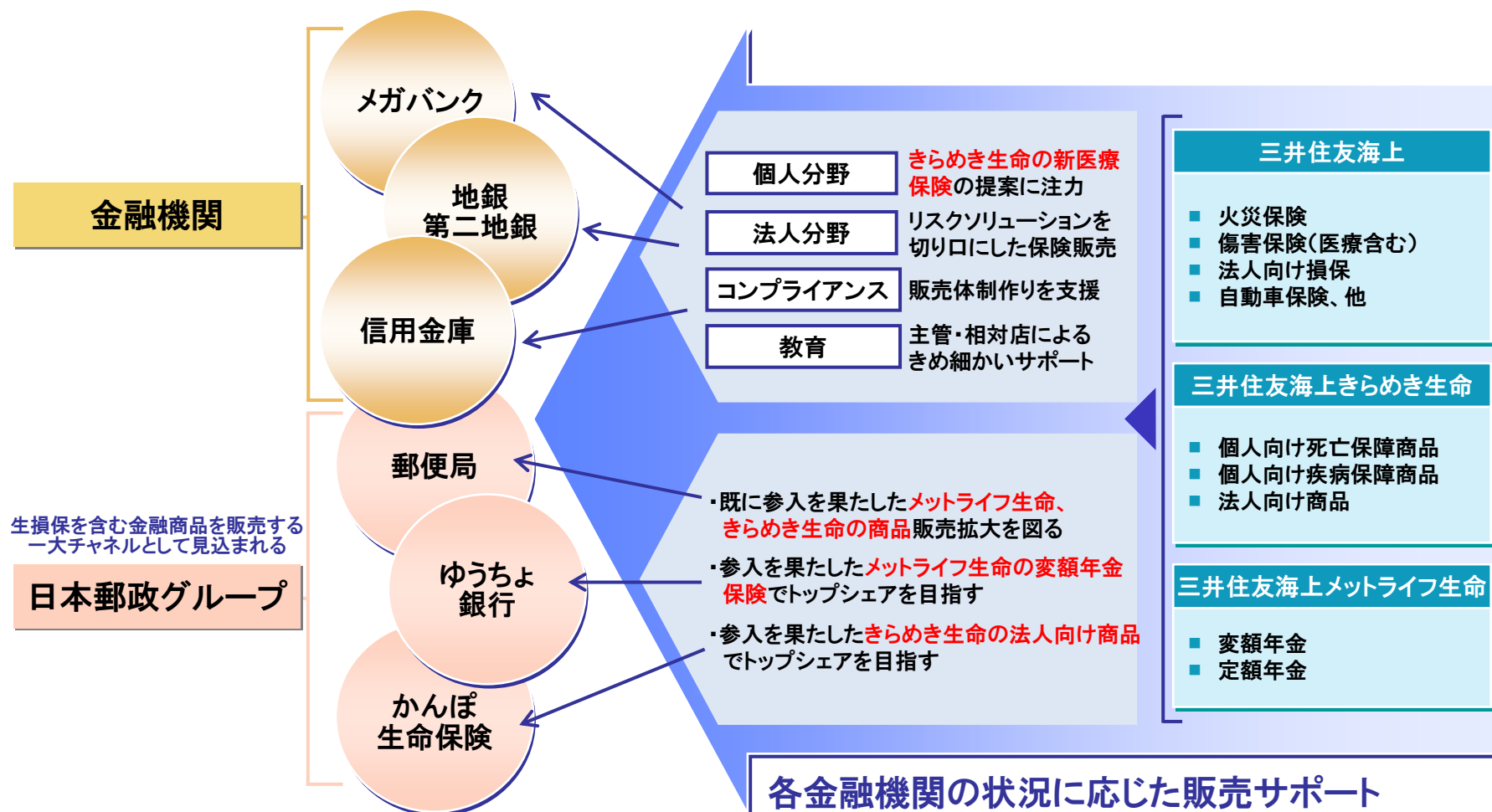
当社グループの基盤となる市場として キメ細かな対応と収益重視の展開を図ります



人口減とともに従来の損害保険市場は成熟化が進むが、企業品質の向上によるマーケットシェアの拡大、新商品による新しい分野の開拓による成長と収益拡大は十分に期待される

「郵政公社の民営化、銀行窓販の全面解禁への対応はどうか？」

グループ各社の総合力を発揮し、取り組みを加速します



「サブプライムローンの引受残高は？」

残高は21億円と極めて限定的です

クレジット・デリバティブ

6,042億円

米国サブプライムローンへの
エクスポージャー
実質0億円

米国モノラインからの受再

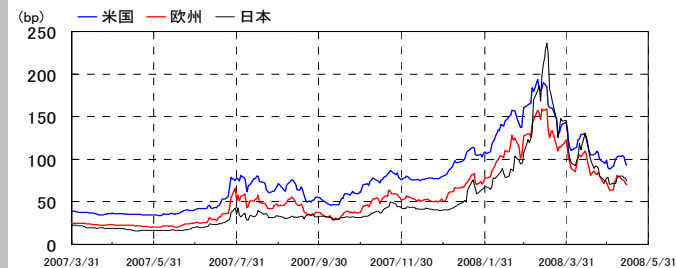
7,010億円

米国サブプライムローンへの
エクスポージャー
実質21億円

金融市場の信用収縮により、
2008年3月末では評価損として
261億円を計上

現在、クレジット・デリバティブ市場は
回復基調にあります

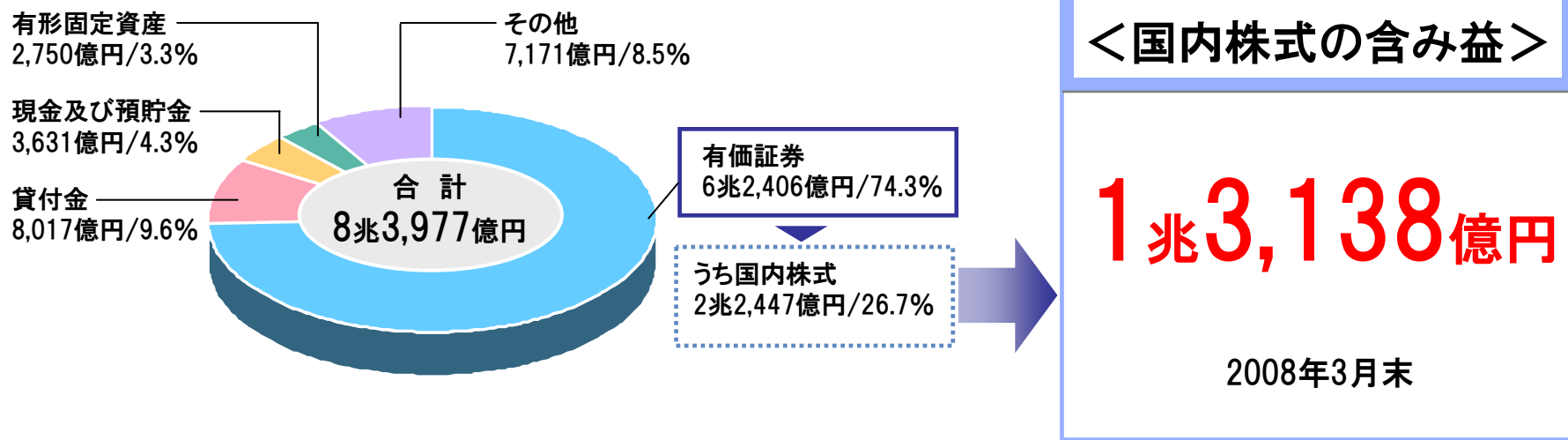
【クレジットデリバティブ市場の信用スプレッド推移】



(注) Bloombergのデータを元に当社で作成。

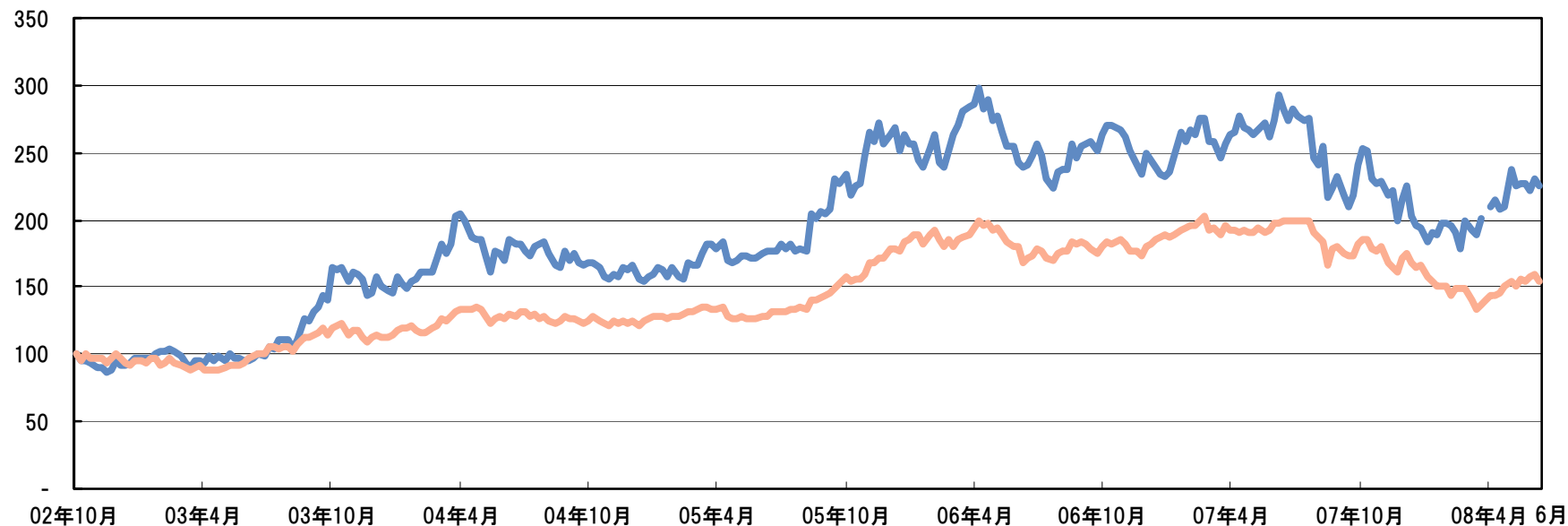
「有価証券の含み益はどのくらいですか？」

十分な含み益を有しています



株価の推移

(株価指数) 三井住友海上株価推移 TOPIX推移



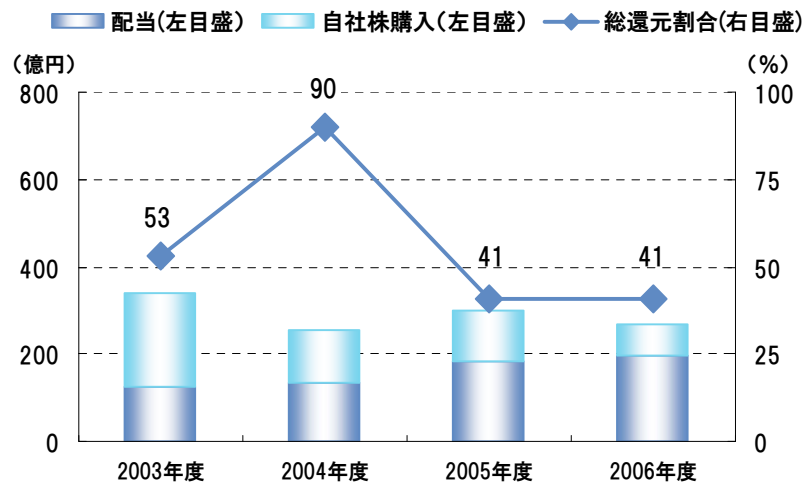
	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度
連結ベース1株当たり純資産額	963.51円	1,021.13円	1,427.17円	1,536.71円	1,178.48円
PBR	1.15倍	0.96倍	1.12倍	0.96倍	0.85倍

(注) 2008年3月31日以前については、三井住友海上火災保険のデータを掲載しています。株価推移では、持株会社化前後の株価は修正し、連続性を考慮しています。

株主の皆さまへの還元について

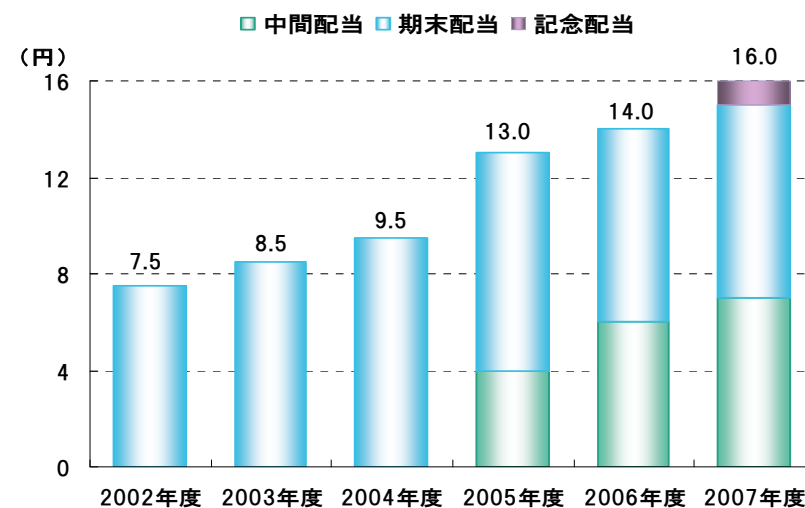
- 「グループコア利益」の40%相当額を目処に、配当と自社株の取得により株主還元を行います
- 安定的な配当を堅持し、中長期的に増配基調を維持します

株主還元実績(三井住友海上)



※配当・自社株取得は、実施財源の計上年度ベースで表示。

配当の推移(三井住友海上)



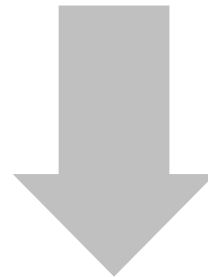
- ・2003～2006年度の総還元実績は「53%」→「90%」→「41%」→「41%」と推移
- ・2007年度の年間配当は、1株当たり1円の増配に加え、記念配当(1株当たり1円)を実施
- ・2008年2～3月には、自社株の購入(総額70億円)ならびに金庫株(1億260万株)の消却を実施

トピックス



個人向け商品の共通ブランド「GK」を創設

～ 第一弾として、わかりやすい自動車保険「GK クルマの保険」を5月より発売 ～

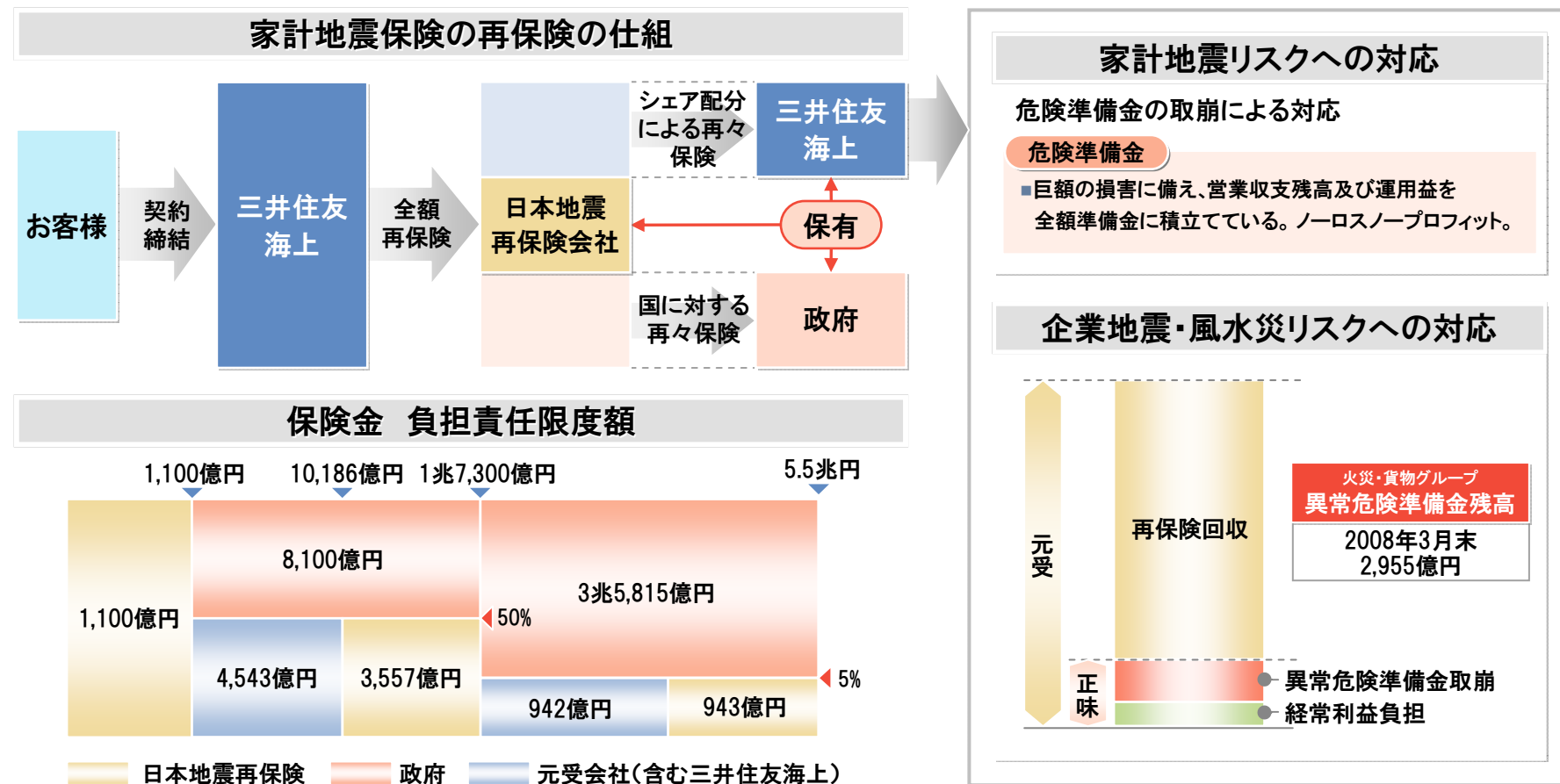


個人向け商品の共通ブランド	区分
GK	クルマの保険
	すまいの保険
	からだの保険
	生命の保険

業界初の取組みとして、
生命保険も含めた個人向け主要商品の共通ブランド化

「大規模自然災害への備えはどうなっていますか？」

家計地震保険は政府と日本地震再保険会社・損害保険会社が共同運営する仕組みとなっています



企業市民としての活動の一例

全国で広がる社会貢献活動



救急法・AED
体験講座



高齢者
疑似体験

女子柔道部・女子陸上競技部



土佐礼子選手



渋井陽子選手



上野雅恵選手



中村美里選手

～北京オリンピックに4名が出場！～

三井住友海上文化財団

三井住友海上文化財団は、音楽・郷土芸能の分野において、国民一般の文化活動を支援することにより、地域における文化の振興および文化の国際交流促進を図り、わが国文化の向上発展に寄与することを目的にしています。

主な事業として次の二つの活動をおこなっています。



地域住民のための
コンサート開催



文化の国際交流活動
に対する助成

ホームページ「株主・投資家の皆さま」向けサイト

<トップ>

三井住友海上グループホールディングス

三井住友海上グループについて | ニュースリリース | 株主・投資家の皆さま | CSR | 会社情報

三井住友海上グループ MSIG

株価: (証券コード8725) 6/11 13:35 東証1部
 現在値 **4,210**
 前日比 (-30)

株主・投資家の皆さま

メール配信案内

CSR

個人投資家の皆さまへ

経営方針

コーポレート・ガバナンス

コンプライアンス

リスク管理体制

業績・財務データ

IRイベント

IR資料室

株式・社債情報

IRポリシー

IRヘルプ

IRよくあるご質問

IRお問い合わせ

RSS配信について

IRサイトマップ

モバイル版 IRサイトのご案内

メール配信案内

<「株主・投資家の皆さま」トップ>

MSIG 三井住友海上グループホールディングス

一人ひとり一つひとつを大切に。 サイトマップ | よくあるご質問 | お問い合わせ | メール配信

English Top 文字サイズ 小 大

三井住友海上グループについて | ニュースリリース | **株主・投資家の皆さま** | CSR | 会社情報

トップページ | 株主・投資家の皆さま

株主・投資家の皆さま

株価: (証券コード8725) 6/11 13:35 東証1部
 現在値 **4,150**
 前日比 (-30)

※20分遅れ 情報提供: 大和総研

個人投資家の皆さまへ

経営方針

コーポレート・ガバナンス

コンプライアンス

リスク管理体制

業績・財務データ

IRイベント

IR資料室

株式・社債情報

IRポリシー

IRヘルプ

IRよくあるご質問

IRお問い合わせ

RSS配信について

IRサイトマップ

モバイル版 IRサイトのご案内

メール配信案内

このページの先頭へ戻る

当サイトについて | プライバシーポリシー | ディスクロージャー基本方針 | アクセシビリティについて | RSS配信について

三井住友海上グループホールディングス株式会社 Copyright © 2008 Mitsui Sumitomo Insurance Group Holdings, Inc. All rights reserved.



三井住友海上グループホールディングス株式会社

予想および見通しに関する注意事項

- 本資料に記載の内容のうち、歴史的事実でないものは、三井住友海上グループホールディングス株式会社（以下、当社）の将来に関する計画や戦略、業績に関する予想および見通しであり、現時点で把握可能な情報から得られた当社の判断に基づいています。実際の業績は、さまざまな不確定要素により、これらの業績見通しと大きく異なる結果になり得ますことをご承知おき下さい。
- 実際の業績に影響を及ぼし得る要素には、(1)事業領域を取り巻く経済動向、(2)保険業界における競争激化、(3)為替レートの変動、(4)税制など諸制度の変更、などを含みます。

お問い合わせ先

- 三井住友海上グループホールディングス株式会社 企画部 IR室
TEL: 03-3297-6486 FAX: 03-3297-6935 <http://www.msig.com>

2008年7月